

キイロテントウゴミムシダマシ美囊郡吉川町にて採集

(兵庫県甲虫相資料・165)

高橋 寿郎

キイロテントウゴミムシダマシ *Leiochrodes masidai* Nakane, 1963 は中根猛彦博士が Miho, Naka-gun, Shimane (多分島根半島の美保関町の美保湾に面した海岸線) 産で記載された種である (Fragm. Col. pars. 6, p. 26, 1963)。同時に同博士は原色でも図説しておられる (原色昆虫大図鑑 第2巻, pl. 110, f. 16, p. 220, 1963)。黄赤褐色で光沢があり割合顕著な種であるが従来兵庫県からの記録は無かった。1985年7月11日美囊郡吉川町で薪から1頭採集出来たので此処に報告しておく。

本種の分布は本州とのみであったが最近高井 泰氏は福岡県黒木町から九州からの初めての記録をしておられる (月刊なし No. 173, p. 36, 1985)。

近似のクロテントウゴミムシダマシ *L. convexus* の方も県下での記録が案外と少い (仲田元亮氏の川西市大和の記録があるがそれ以外では筆者が採集した川辺郡猪名川町槻並 1 ex., 2-VII-1978, 神戸市烏原 2 exs., 30-VI-1984 があるだけである)。(SEP. -1985)

県 関 係 文 献 紹 介

○ 河上仁之：伊丹市昆虫目録 (1, 2)

伊丹の自然 1:22-32, 1984. 2:27-32, 1985.

伊丹市で1965年以後に観察例のある昆虫をまとめると474種あるとしてその目録並びに代表グループの解説をされている。(1)で甲虫は39科202種が記録され、(2)で9科16種が記録されている。また(2)では直翅目についての観察記録が報告されている。

この『伊丹の自然』は昆虫以外の報文も多くあり仲々立派な刊行物である (第1号 48p. 第2号 56p.)。本書を御恵与下さった伊丹博物館 坂根隆治氏に厚く御礼申しあげる。

○ 住宅・都市整備公団関西支社：

東条地区開発に伴う環境影響評価現況調査報告書 252p. (1984).

一般に手にすることのむづかしい文献である。昆虫については4~7月の間に7回調査して